



ようこそ オープンキャンパスへ

～県立広島大学

生命環境学部～

生命環境学部長 奥 尚



# 本日のプログラム

9:30~10:45		11:00~12:15		13:30~14:30	15:00
学部・学科 大学院紹介①		学部・学科 大学院紹介②		模擬講義 〔応用生命科学コース 食品資源科学コース 環境科学科〕	
研究室見学 (10:00~15:00)					
	学生プレゼンテーション, 在学生との対話 &個別相談 (① 11:00~12:00)		学生プレゼンテーション, 在学生との対話 &個別相談 (② 12:30~13:30)		
	保護者説明会 (① 11:00~12:00)		保護者説明会 (② 12:30~13:30)		
	施設見学	クラブ実演	施設見学		
	学生食堂ランチサービス (11:00~14:00) ※無料チケットは当日受付で配布				



地域に貢献する「知」の創造・応用・蓄積を図り、「地域に根ざした、県民から信頼される大学」を目指して、  
〈教育〉〈研究〉〈地域貢献〉を3本の柱とした大学運営を積極的に推進します。

## 教育

実践力のある人材の育成

## 研究

地域に根ざした高度な研究

## 地域貢献

大学資源の地域への提供

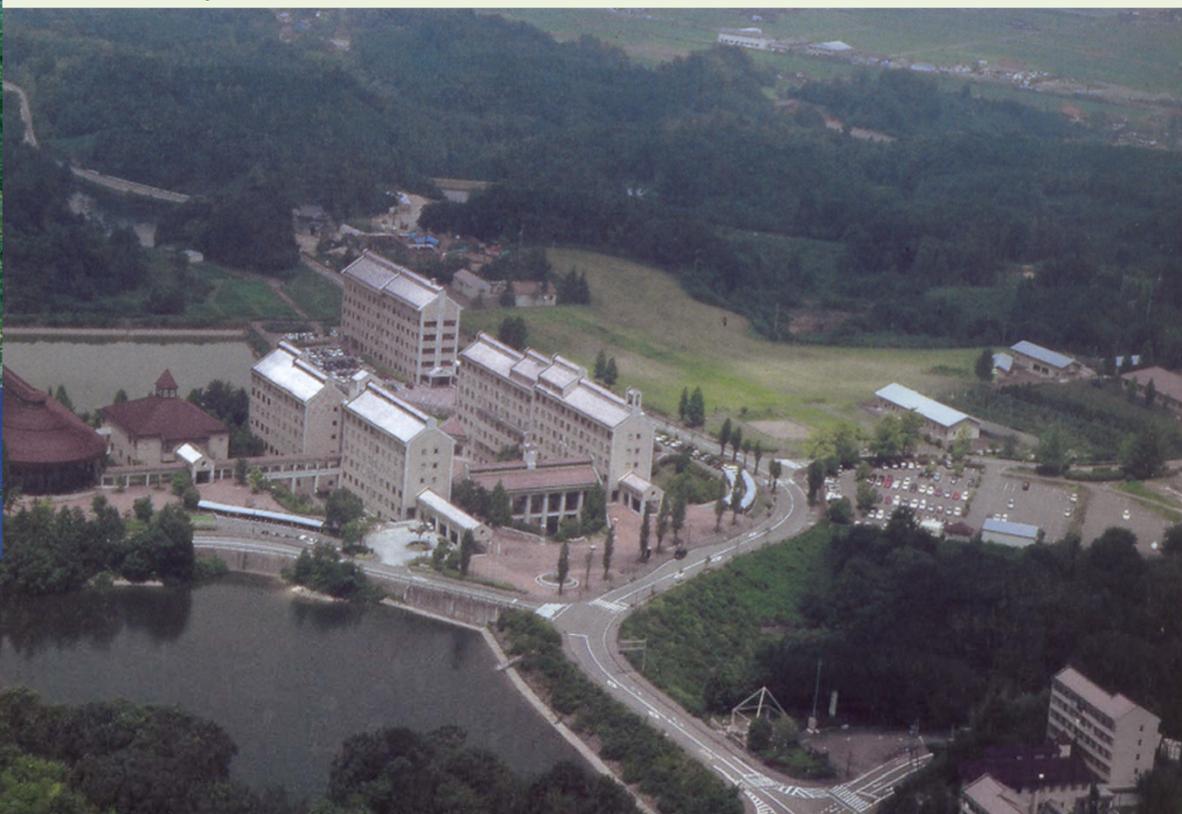
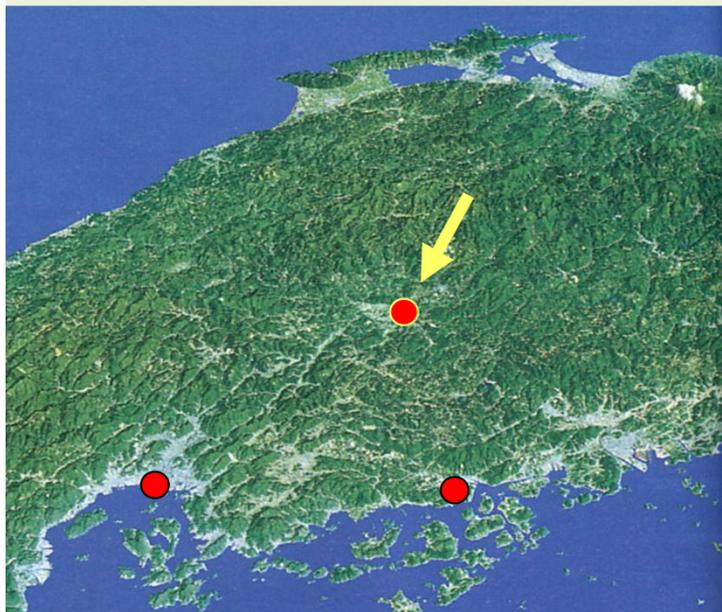
# 知が集まり、世界が広がる！



人に優しい科学を探求する

# 生命環境学部

Faculty of Life and Environmental Sciences



生命科学と環境科学の連携で地球に貢献する **生命環境学部**



# 生命環境学部

Faculty of Life and  
Environmental Sciences

## 学部の特色！

### ◎カリキュラムの特色

1. **研究者・技術者養成のための基盤充実**: 専門基礎・実験演習科目・専門科目の合理的・系統的配置による教育
2. **高度な専門科目ときめ細かい指導**: 合理的かつ体系的な専門教育と2年間必修の卒業研究により複合的・学際的視野をもつ人材の育成

### ◎研究活動の特色

1. **積極的な共同研究の実施**: 重点研究成果の教育活動への反映
2. **最先端研究への学生の参加**: 最新技術の修得と全員卒業研究

# 学部教育の概念図

～バイオテクノロジーの活用～

## 生命科学科

- ・生命機能の解析・応用
- ・生物資源の活用
- ・食品の高機能化

## 連携領域

- ・人間生活の向上
- ・持続型社会の構築
- ・バイオレメディエーション
- ・フィールド科学

## 環境科学科

- ・環境計測・分析
- ・環境保全技術
- ・環境材料開発

定員:110名  
教員:31名

～環境の把握と課題提起～

定員:55名  
教員:15名

# フィールド科学 教育分野の特徴



## 人材育成目標

農学を中心とした専門知識のみならず、生命・環境科学の幅広い専門知識を有する人材、分野間連携、調整能力を発揮し課題解決にあたることのできる人材を育成します。たとえば、コミュニケーション力、リーダーシップを持ち、「食」と「農」およびそれを取り巻く「環境」知識についての強みを発揮して6次産業の担い手となりうる人材を育成します。



## 基幹となる科目

「フィールド科学」1年後期 選択  
備北地域の理解と地域貢献についての学問  
「フィールド科学実習」2年 通年 選択  
地域課題に関わる基本技術の習得  
「フィールド科学卒論」3-4年 卒論必修  
分野横断的な総合的視野を持つ人材育成

## 特色と位置づけ



### 生命科学科

- 生命機能の解析・応用
- 生物資源の活用
- 食品の高機能化

### 連携領域

- 人間生活の向上
- 持続型社会の構築
- バイオレメディエーション
- 生物動態

### 環境科学科

- 環境計測・分析
- 廃棄物処理・再資源化
- 環境ガバナンス

## フィールド科学

本学部の立地を活かした地域産業と連携した教育

附属フィールド科学教育研究センターとの連携

学外での卒論発表会

両学科の教員による学科枠を超えた教育

フィールドに出かけて課題発見-解決型の教育

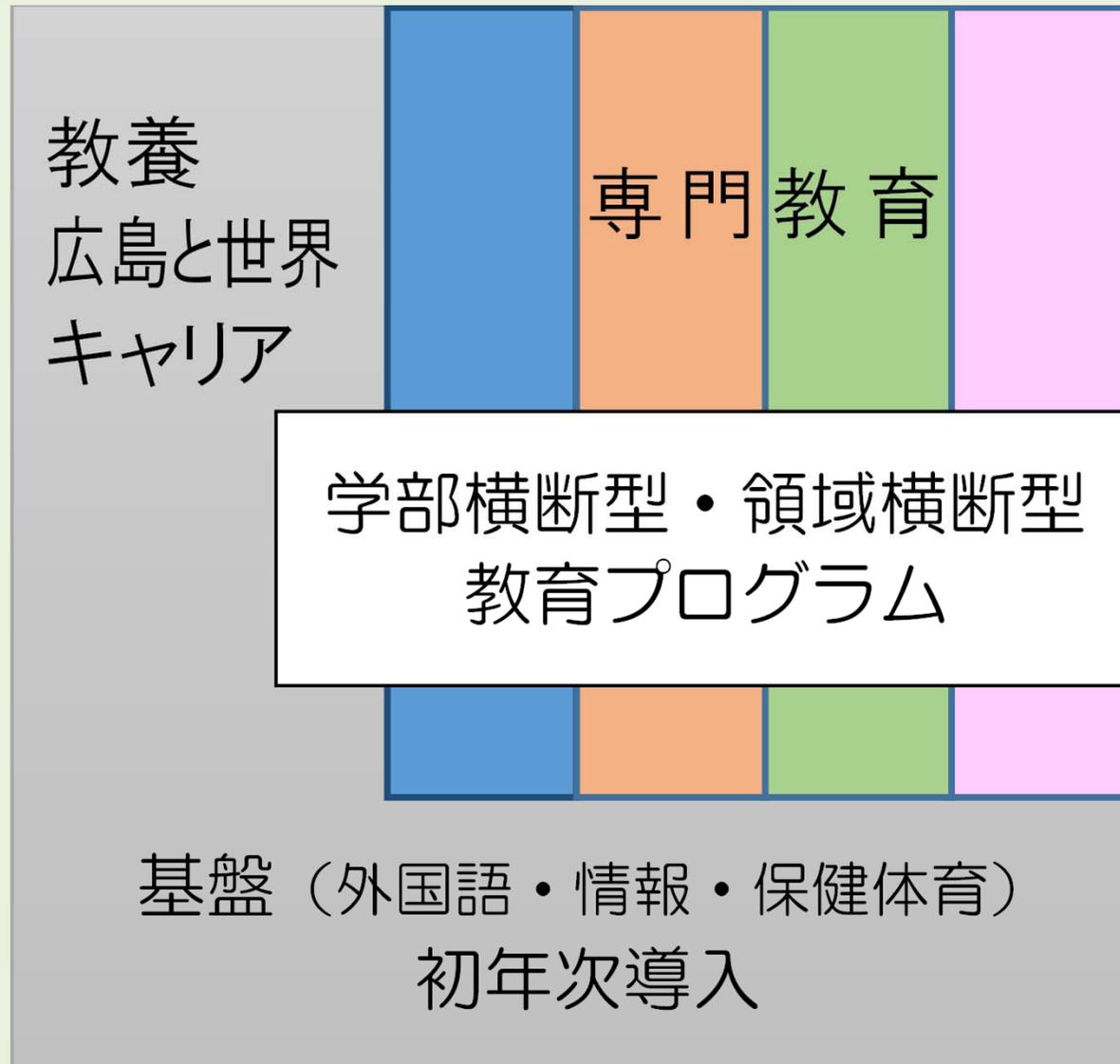


生命科学と環境科学の連携で地球に貢献する  
**生命環境学部**

# 専門教育と全学共通教育の役割

専門教育	高度な専門的知識・技能を身に付ける
全学共通教育	専門分野の枠を越えて必要とされる知識やスキル, 幅広い視野や教養を身に付ける

# 学部横断・領域横断型のプログラム





# 生命環境学部 卒業必要単位

平成29年度～

区 分		必要最低単位数		
		生命科学科	環境科学科	
全学共通教育科目	初年次導入	1単位	1単位	
	基盤(外国語・情報・保健体育)	14単位	14単位	
	キャリア	2単位	2単位	
	教養(人文・社会・自然)	6単位	6単位	
	広島と世界	2単位	2単位	
	上記区分から自由選択	7単位	7単位	
専門教育科目	専門基礎科目	15単位	15単位	
	基幹科目	22単位	24単位	
	学科専門科目	学科共通	20単位	学科共通20単位
		コース専門 15単位	コース専門 20単位	コース専門 25単位
		専門基礎実験	6単位	
専門実験	2単位			
卒業論文(2年間必修)		8単位	8単位	
合 計		124単位	124単位	

# 生命環境学部 卒業論文発表会

生命環境学部生命科学科および環境科学科では、3年次から研究室に配属し、卒業論文研究に着手します。教員からの指導を受け、実践的な研究活動(実験やフィールド調査等)を積み重ね、それぞれが研究成果を卒業論文にまとめ、発表会で発表します。



平成28(2016)年度卒業論文発表会(平成29年2月7, 8日開催)の様様



# 農作業奉仕学生の輪10年

## 庄原の県立大サークル

### 農家との触れ合い 喜び

県立広島大庄原キャンパス(庄原市七塚町)の農林作業ボランティアサークル「ファーマーズハンズ」が、設立から10周年を迎えた。農作物を作る喜びに加えて、農家の生き方に触れることも学生の興味につながり、当初4人だったメンバーは約90人に膨らんでいる。

(伊東雅之)

庄原市東城町で25日、52人が参加した。毎年、あつた田植え交流会に、会の新入生が活動への



庄原市東城町の田んぼで田植えに精を出すファーマーズハンズのメンバー(25日)

関心を深めるきっかけにもなっている。広島市佐伯区出身の1年山本千里さん(19)は「食物が農家の苦労から生まれていることを実感できた」と顔の泥を拭いた。

「地元農家をお手伝いしよう」と2004年に発足した同会。活動は庄原、三次市の農家から寄せられる田畑の耕作や草抜き、収穫、間伐材の処理などの作業に希望者を派遣する。自由参加の気楽さもあり、都市部出身者を中心にメンバーは増



## 学生考案 庄原で

### 県立広島大

県立広島大庄原キャンパス

を提供。学生約20人がことし6月から約3カ月かけて、完成させた。



ト」の一環で作られた。大敷地とれんがなどの材料費

20坪、入れ、焼き上、学生、力する、デア実、「いき、ヤンパ、ジェク

日本農芸化学会学生奨励賞



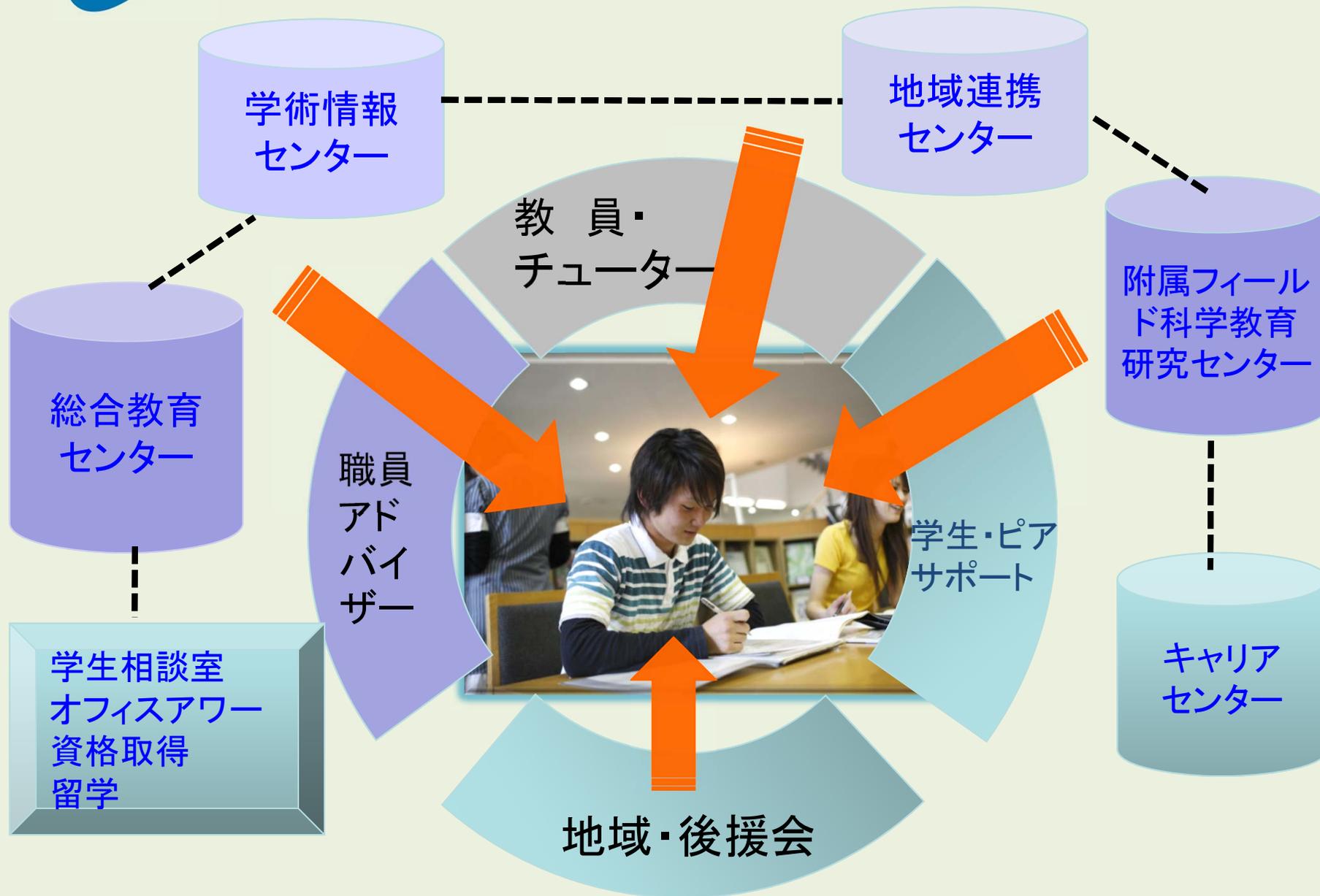
# 生命環境学部における学内活動の様子







# さまざまな学習支援体制



# 平成29年度卒業生 進路決定状況

## 就職決定率

生命科学科，環境科学科とも100%

	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職決定率
生命科学科	103	20	81	81	100%
環境科学科	59	11	44	44	100%
学部計	162	31	125	125	100%

福留ハム(株)，(株)福山臨床検査センター，日亜化学工業(株)など，  
学科の専門性を活かした県内外の企業に加え，  
公務員も実績 広島県(衛生一般)，愛媛県(畜産)，大分県(農業)など。  
進学者のうち，本学大学院(生命システム科学専攻)への進学は23名



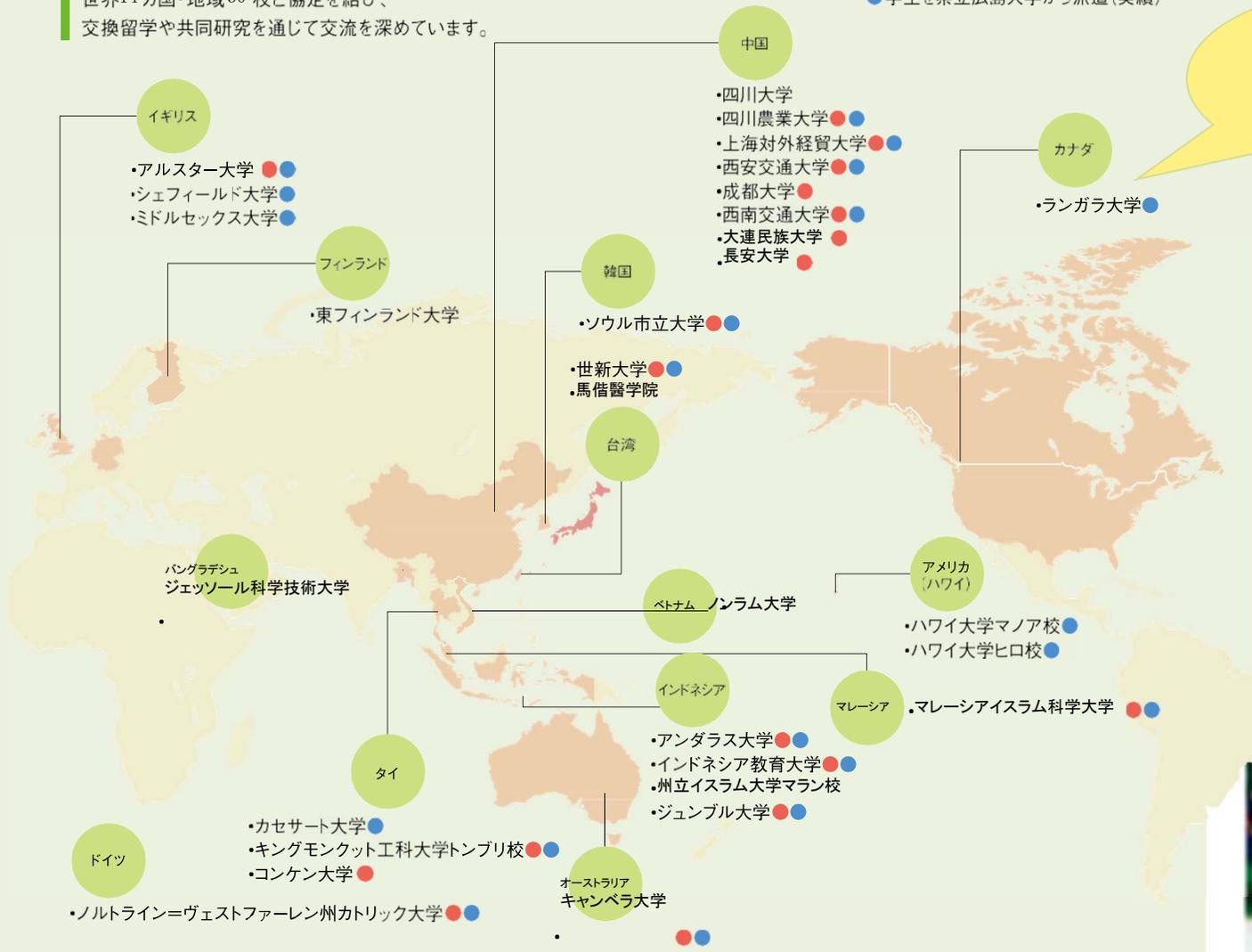
# 生命環境学部における資格・免許と進路

	取得できる資格・免許	卒業後の進路目標
生命科学科	中学校教諭1種免許（理科） 高等学校教諭1種免許（理科） 食品衛生管理者 食品衛生監視員 バイオ技術者中級・上級	教育・研究機関の教育者・研究者 医農薬品工業・化学工業・資源エネルギー産業の研究者・技術者 食品関連企業の研究者・技術者 バイオテクノロジーを生かすあらゆる業種の研究者・技術者 関連分野の大学院進学、など
環境科学科	中学校教諭1種免許（理科） 高等学校教諭1種免許（理科） 食品衛生管理者 食品衛生監視員 エコ検定 環境分析士 公害防止管理者	教育・研究機関の教育者・研究者 化学・薬品・食品等の製造業の研究者・技術者 建設、電機、機械等の産業における環境部門の研究者・技術者 環境関連の分析・コンサルタント産業の研究者・技術者 環境関連の公共研究機関、環境関連NPO法人の研究者・技術者 関連分野の大学院進学、など

## 海外留学・研修

世界14カ国・地域30校と協定を結び、  
交換留学や共同研究を通じて交流を深めています。

- 学生を県立広島大学に受入(実績)
- 学生を県立広島大学から派遣(実績)



大学案内  
8ページ



インドネシア、インドネシア公立イスラム大学(マラン校)との交流事業(生命環境学部)

生命環境学部	平成28年10月	インドネシア公立イスラム大学(マラン校) (インドネシア)	本学の教職員がインドネシア公立イスラム大学(マラン校)で開催された国際会議等に参加した。
--------	----------	-------------------------------	--



恵まれた自然環境の中、科学する  
心のエネルギーを燃やしてみませんか



生命環境学部長	奥	尚
生命科学科長	五味	正志
環境科学科長	西村	和之